

## 日本鉱物科学会 平成22年度総会 記事

日時：平成23年9月10日（土）12：00～12：30

会場：茨城大学講堂

### 一 議長選出

平島崇男会員（京都大学）が指名され、満場一致で承認された。

### 一 定足数の確認

庶務幹事より出席者123名と有効委任状81通の総数204名が会則第19条の定足数（97人以上）を満たすことが報告され、総会の成立が確認された。

### 一 黙祷

物故会員（4名）

馬野福夫永年会員，松本徂夫永年会員，  
紺野七郎一般正会員，田辺克幸一般正会員

### 一 報告及び承認事項

#### 1. 平成22年度事業報告

##### 1) 会員報告

阿部会員幹事より以下の会員動静について説明があった。  
会員合計970名（一般正会員836名，学生正会員88名，永年会員39名，名誉会員7名）。賛助会員11件，読会員66件（29団体，37書店），国内交換寄贈13件，海外交換機増91件（9月8日現在）。

##### 2) 広報報告

柳澤広報幹事より，日本地質学会と合同で，年会のプレスリリースを作成し，8/31に茨城県庁で記者会見を実施したこと，学会受賞者のポスター掲示も地質学会と合同で実施していること，ホームページに関して特設ページの開設，HP移転準備作業，デザイン変更準備作業を行っており来年4月からHPは現在の学術情報センターからNifty Serveに完全移転すること，会員へのML送信を32回実施し内容は，学会事務連絡，公募案内，関連学会案内などであるとの報告があった。

##### 3) 渉外報告

井上渉外幹事より，モンゴル資源地質学会との学術交流協定書について紹介，報告があった。協定書内容は後記。

##### 4) 和文誌編集報告

赤坂和文誌編集幹事より，以下の「岩石鉱物科学」誌の編集・発行状況と編集委員会状況について説明があった。  
・平成22年度発行岩石鉱物科学39巻5号(9月)～40巻4号(7月)の掲載件数と頁数は次の通り。原著論文3件 39p，短報1件 3p，総説6件76p，資料・解説4件35p，新刊紹介9件 5p，ニュース(他学会案内，教官公募等) 1p，学会記事(評議員会・総会議事録，連合ニュース等)33p，2011年会案内・プログラム 41p，追悼文2件，2p，総目次 2p，広告12件 10p，白頁 1p，合計248頁。

・9月8日現在，40巻4号(7月号)まで発行済み。40巻5号(9月号)は短報1編，資料1編を掲載予定。現在の投稿論文は6編。

・現時点で，編集委員会ではページチャージ制などが議論されている。

##### 5) 英文誌編集報告

榎並英文誌編集幹事より，以下の「JMPS」誌の編集・発行状況と編集委員会状況について説明があった。

・平成22年度 JMPS105巻5号(10月)～106巻4号(8月)の掲載件数と頁数は6号分で次の通り。Reviews 1件12p，Article 17件180p，Letter 22件130p，Min. Abst. 115件 22p，Editorial 1p，Errata 1件1p，投稿規定3p，Index 4p，Contents 4p，白頁1p，合計358頁。

・9月8日現在，106巻4号(8月号)まで発行済。5号(10月号)は原

著論文3編，連合Letter 1編を掲載予定。9月2日現在査読中論文18編。2011年年会での講演を対象にLetterの投稿を募集中。

・Jstage-3 (Editorial Manager) へ移行し，メール投稿は中止，投稿，査読は全てオンライン化した。編集委員の交代のための推薦をお願いすることとなった。

### 6) 行事報告

大和田行事幹事より，日本鉱物科学会2011年年会・総会は2011年9月9日(金)～11日(日)の間，茨城大学で日本地質学会との合同学術大会として行われていること，日本地球惑星科学連合2012年大会は2012年5月20日(日)～25日(金)の間，幕張メッセ国際会議場で行われること，日本鉱物科学会2012年年会・総会は2011年9月19日(水)～21日(金)に京都大学において開催される予定であること，2013年年会の件は第1回評議員会で審議予定と報告があった。

### 7) 庶務報告

小山内庶務幹事より，会員へのメールによる意見聴取，評議員会メール回議，意見聴取など，地惑連合関連事項，後援・共催・協賛事項について報告があった。

### 8) 教育普及委員会報告

黒澤委員長より，前年度からの継続事項となっている文部科学省募集の平成24年度「一家に一枚」ポスター制作企画について，本年度は教育普及委員会として応募したこと，原案は「鉱物―地球と宇宙の宝物―」と題し，地球内部と太陽系で重要な鉱物を美しい写真と短い説明を付けて地球内部のイラスト上に配置し一般市民に鉱物の魅力と不思議を伝える内容のポスターとしたこと，応募締め切りは9月1日，9月13日に企画審査が文科省で行われ，採択されれば10月ごろから製作に入る予定であること，製作の際には鉱物科学会会員にも写真提供やイラスト案の作成などで協力をお願いする予定との報告があった。

### 9) 地球惑星科学連合報告

大谷地惑連合連絡担当委員より2012年連合大会プログラム委員として(正)角替敏昭会員，(副)長瀬敏郎会員を推薦したこと，来期の理事の選出並びに選挙についての報告，AIGS2012年開催候補地として札幌を出していたが選出されなかったので2013年度候補地として再度挙手するとの報告があった。

### 10) 学術会議報告

大谷学術会議連携委員から22期のメンバーは決定しているとの報告があった。

### 2. 平成22年度会計決算報告・承認

中村会計幹事より決算報告(表1，表2)がなされた。

### 3. 会計監査報告

伴会計監査委員より上記決算について監査報告がなされ，承認された。

### 4. 平成23年度評議員選挙結果報告

安東選挙管理委員より以下の選挙結果報告がなされ，承認された。

評議員任期3年：

奥山康子，小澤一仁，大藤弘明，小山内康人，鍵 裕之，  
佐藤 努，伴 雅雄，平島崇男，宮島 宏，森下知晃  
(以上五十音順)

<次点> 富岡尚敬

投票用紙発送数：960通 (海外13通含む)

総投票数：367 票 (有効投票367票 無効投票0票)

開票集計日：平成21年8月6日

選挙管理委員：安東淳一，片山郁夫

正会員立会人：大川真紀雄

### 一 審議事項

1. 平成23年度事業計画

大谷会長より、平成23年5月24日に開催した臨時総会で説明がなされてから評議員会で継続審議検討してきた学会財政と事業についての第3回評議員会審議結果について、シニア会員の導入、Elementsへの参加、会費改定に伴う会則改正案、予算案作成などの説明があり、質疑応答があった。

2. 平成23年度予算案

学会財政に関する審議の後、中村会計幹事より予算案(表3、表4)について説明があり、質疑応答の後、満場一致で承認された。

3. 会則改正

会長・副会長の選出ならびにシニア会員制の導入、電子ジャーナル化に伴う冊子版との区別、年会費の改定による改正案が提示されこれを承認された。(改正会則などは後頁)

一 日本鉱物科学会賞授与

土山 明選考委員長より選考結果が報告され、大谷会長より第6回受賞者として板谷徹丸会員、第7回受賞者として杉山和正会員に賞状と記念品が授与された。

一 渡邊萬次郎賞授与

石渡明選考委員長より選考結果が報告され、大谷会長より第27回受賞者として丸茂文幸会員に賞状とメダルが授与された。

一 日本鉱物科学会論文賞授与

奥山康子選考委員長より選考結果が報告され、大谷会長より第9回受賞者として河上哲生会員、外田智千会員、第10回受賞者として西 真之会員、久保友明会員、加藤 工会員に賞状と記念品が授与された。

一 日本鉱物科学会研究奨励賞授与

川本竜彦選考委員長より選考結果が報告され、大谷会長より第7回受賞者とし大藤弘明史会員、第8回受賞者として石丸聡子会員に賞状と記念品が授与された。

一 日本鉱物科学会応用鉱物科学賞授与

宮脇律郎委員長より選考結果が報告され、大谷会長より第4回受賞者として紋川 亮会員に賞状と記念品が授与された。

一 日本鉱物科学会ポスター研究発表最優秀賞授与

大和田正明行事幹事より報告された選考結果に基づき、大谷会長より第18回受賞者として額額佑衣会員、第19回受賞者として金子詳平会員に賞状が授与された。

一 日本鉱物科学会ポスター研究発表優秀賞授与

大和田正明行事幹事より報告された選考結果に基づき、大谷会長より第20回受賞者として秋澤紀克会員、第21回受賞者として牲川菜月会員に賞状が授与された。

一 モンゴル資源地質学会との調印式

モンゴル資源地質学会Bat Erdene会長と日本鉱物科学会大谷会長と以下の内容で国際交流協定書に署名した。

モンゴル資源地質学会との国際交流協定書

Agreement for Academic Cooperation and Exchange between Japan Association of Mineralogical Sciences and Mongolian Society of Economic Geologists

Article 1. This Agreement defines the principles and methods of cooperation between Japan Association of Mineralogical Sciences and Mongolian Society of Economic Geologists to develop geosciences and mineralogical sciences under equal partnership.

Article 2. Japan Association of Mineralogical Sciences and Mongolian Society of Economic Geologists agree to promote academic cooperation between both societies through the following means:

- (1) Mutual invitations to participate in scientific seminars, regular meetings and field trips
- (2) Joint organization of seminars and academic meetings
- (3) Joint or collaborative research activities and publications
- (4) Exchange of academic and educational materials and other information
- (5) Promoting other academic and educational cooperation as mutually agreed

Article 3. Both Societies agree to carry out the above activities in accordance with the laws and regulations of the respective countries and full consultation and approval of both Societies. It is understood that implementation of any of the types of cooperation stated in article 2 may be restricted depending upon the availability of resources and financial support. The execution of this agreement will not cause any financial obligations to either Society.

Article 4. This agreement is valid for a period of five years from the date of signing by the representatives of both Societies. This Agreement may be renewed after being reviewed and renegotiated by both Societies.